授業科目　社会福祉援助技術現場実習ⅡA

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	社会
豊田 保　伊東正裕　松山茂樹　塩見義彦　村上 信　丸田秋男		開講時期	前期	必修・選択	必修
横山豊治　松井奈美		単位数	3	時間数	９０（学内指導３０・現場実習６０）

＜概要＞

３年次の本実習「社会福祉援助技術現場実習ⅡB」に備え、社会福祉施設での現場実践を短期間体験し、施設における日常業務の展開、職員の働き、利用者状況等についての基礎的な理解を図る。

4～７月は学内での事前学習を行い、実習目的と現場配属実習に臨む上での基本的な留意事項等の理解を図るとともに、実習先の施設・分野に関する事前学習をグループ単位で行う。８～11月の期間に各自が５日間程度の現場配属実習を新潟県内の福祉施設で行う。

＜学習目標＞

1　実習目的を明確化する
2　実習に際しての基本的な留意事項を理解する
3　各実習施設の分野に関する予備知識を修得する
4　各配属先での実習目的の達成に努める
　①社会福祉施設における日常業務の流れと施設の機能について理解する
　②社会福祉施設における利用者について具体的に理解する
　③社会福祉施設における職員の構成と主な役割を具体的に理解する

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	全体学習①　本授業の進め方と実習の目的、実習生に求められる基本的態度等を理解する		講義
2	全体学習②　実習経験者より、実習の具体的内容について伺い、留意的をつかむ		講義
3	全体学習③　福祉現場のゲスト講師より、実習生に望むことを伺い、留意点をつかむ		講義
4	全体学習④　「現場実習の手引き」について説明を受け、内容を理解する		講義
5	グループ学習①　実習先の３分野に分かれ、各分野の実習で特に留意すべき点を学ぶ		講義（児童・障害・高齢の３組）
7	グループ学習②　実習先の施設種別ごとに10数名程度のグループに分かれ、準備学習を行う		講義・演習
8	グループ学習③　同上（「実習ノート」の記入要領を理解し、実習前に記入すべき事項を記入		講義・演習
9	グループ学習④　同上（実習先の施設に関する事前学習を行う）		講義・演習
10	グループ学習⑤　同上（実習先の施設に関する事前学習を行う）		講義・演習
11	グループ学習⑥　同上（各自の実習目的の確認と必要に応じての個別指導）		講義・演習
12	グループ学習⑦　同上（各自の実習目的の確認と必要に応じての個別指導）		講義・演習
13	全体学習⑤　実習前の手続き、諸準備について確認を行う		講義
14	全体学習⑥　実習先での行動上の留意点、実習後の報告等、事前の最終確認を行う		講義
	８～11月　現場配属実習　５日間程度、各配属先にて現場実習を行う ・配属先、実習日程は学生によって異なり，別途通知される ・実習期間中に教員が各施設を訪問し、巡回指導が行われる ・実習終了後、「実習ノート」を施設に提出し、大学に報告する ・実習後の事後指導と実習の総括については後期の「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の授業内で行われる		実習

【使用図書】	＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格・その他＞
教科書	「社会福祉実習サブノート～初めて実習生となるあなたへ～」社会福祉実習教育研究会編集、中央法規、2000年、2000円＋消費税
参考書	
その他の資料	「現場実習の手引き」ほか、適宜プリントを配布

【評価方法】

学内での事前学習への出席状況、実習先からの評価結果、「実習ノート」の記載内容から総合的に評価する。

【履修上の留意点】

・事前学習は実習に向けての重要な説明が含まれているため、必ず出席すること。
・現場実習は施設職員と利用者の方々の理解と協力によって行われるものであることに十分留意し、誠実な態度で臨むこと。各種の提出物や報告は期限を守り確実に行うこと。